

鬼を追い払う夜

折口信夫

青空文庫

「福は内、鬼は外」と言うことを知って居ますか。此は節分の夜、豆を撒いて唱える語コトバなのです。此日、村や町々の家々へ、鬼が入り込もうとするものと信じて居ました。それに対して、豆を打ちつけて追うのだと言います。今年はそれがちようど、二月四日に当るのです。これは家々ですることですが、又社や寺でも、特別に人を選んで、豆撒き役を勤めさせます。

又豆を年の数だけとって喰うこともあります。地方によつては、一つだけ余計に喰べる処もあります。これはもと一つはからだを撫でたものなのです。つまりからだについた災いを其にうつすつもりだったのです。門カドには前もつて、柵の小枝を挿して置き、そ

れに鰯の頭——昔は鰯ボラの子のいな頭の頭——をつき刺して出しておいたものです。

節分は冬が行き詰って、春が鼻の先まで来て居る夜と言うことなのです。だからこれらの事柄も、夜に行われる事が多いのです。ちようど、鬼打ち豆を撒いて居る頃、表の方を、「厄払いましょう厄払いましょう」と言いながら通る者があることも知っています。これは「厄払い」と言うものです。そうして、呼びかける家があると、その表口に立って、その一家が、今夜から将来キ幸福になる唱え言を唱えて、お礼の銭を貰つては、又先へ出掛けます。

春になる前夜の、賑やかで、そうして何処かにしんと静まった

様子を想像して御覧なさい。暦を見ると、立春と言う日が、載つてありましよう。今年は、其が二月五日になります。冬が過ぎて春の来るのを迎えるについて、出来るだけ我々の生活にとつてよくないものを却けて置いて、輝かしい幸福をとり入れようとするのです。昔から春と新しい年とが、同時に来るものと言う考えが、習慣の様に人々の頭にこびりついて居るので、立春が新しい春その前夜を意味する節分は、旧年の最後の夜という風に思われて居ました。だから、節分の事を「年越し」という地方も多いのです。年越しは、大晦日と同じ意味に用いる語です。

九鬼家クキケと言う古い豪族の家では、節分の夜、不思議な事を行われると言う噂がありました。ある時、松浦伯爵の祖先の静山と謂

つた人が、九鬼和泉守隆国と言う人に、あなたのお家では、節分の夜には主人が暗闇の座敷に坐っていると、目に見えぬ鬼の客が出て来て、坐りこむ。小石を水に入れて吸い物として勤めると、其啜る音がすると言うではありませんかと問いますと、其は噂だけで、そんな事はありません。唯豆を打つ場合に、「鬼は内、福は内、富は内」と唱える。其上、普通にする柸と鯛とは、私の家ではしないと答えられたと言う事です。

此は言うまでもなく、家の名が九鬼である事から、それによつて縁起を祝つて、家の名に関係のあるものを逐オい却ける様な事は一切しない事になったのでしよう。勿論、鬼は来るはずはありません。だが来た事もなかったとは言えません。来るのは勿論、鬼

に仮装した人が出て来て、鬼となって逐われる様子をするのでした。

青空文庫情報

底本：「日本の名随筆17 春」作品社

1984（昭和59）年3月25日第1刷発行

1997（平成9）年2月20日第20刷発行

底本の親本：「折口信夫全集 第三十卷」中央公論社

1968（昭和43）年4月初版発行

入力：門田裕志

校正：多羅尾伴内

2003年12月27日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

鬼を追い払う夜

折口信夫

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>